

大泉記念病院
新！発熱外来

新たなスペース設置

以前より地域の医院・クリニックさまよりご紹介をいただいております。当院の発熱外来ですが、7月より新たなハウスを設置いたしました。

ドクターが対面で問診

新たなハウスでは「受付・会計スペース」、「問診スペース」を設置。各スペースを小窓とパーテーションで区切り、清潔エリアを確保いたしました。以前は電話での問診がメインでしたが、ご予約時間に合わせ担当医師が対応いたしますので、よりきめ細やかな診断が可能となりました。「検体採取室」のハウスを分けることで、患者さまの待機時間の軽減を図りました。

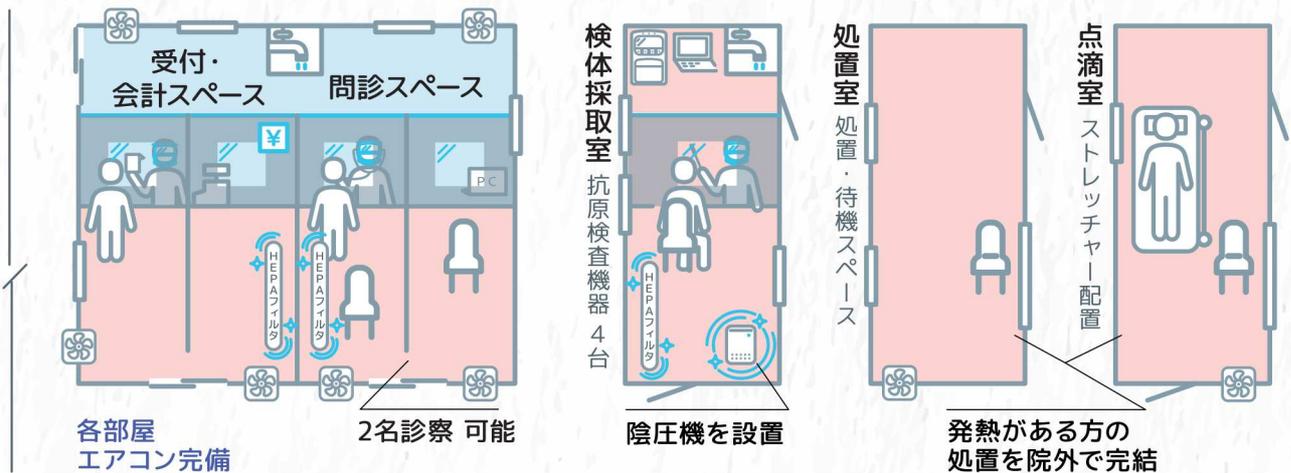


診察から点滴まで外で完結

さらに、「点滴室」をご用意しましたので、発熱がある患者さまの処置を外で完結することができます。点滴が必要な方の対応も可能となりました。発熱に伴う脱水や食欲不振の患者さまの対応もより柔軟に対応可能となりました。是非当院をご活用ください。

5月に「第5類」へ移行した新型コロナウイルス感染症ですが、第9波も予測されており、まだまだ油断ができない状況です。今後とも、患者さまのご紹介をお待ちしております。

各スペースを解説！



▼ ご紹介から診察の流れ ▼



部署紹介

1階フロア リハビリ テーション科



こんにちは! リハビリテーション科です。

朝、布団から起きあがる、居間で椅子に座ってテレビを見る、
食事を作る、家族や友達とおしゃべりする、ご飯を食べる、散歩に行く…

当たり前過ぎていた日常が
病気やけがによる体力の低下のために当たり前ではなくなる、
人生を歩む中で、心ならずも
不自由な思いをすることがあるかもしれません。

リハビリテーション科では、できる限り「当り前の生活」を取り戻し、
地域の中で自分らしく、心穏やかな生活を営むことを目指した支援を行っています。

当科には、理学療法士(7名)、作業療法士(2名)、言語聴覚士(2名)、リハビリ助手(1名)が在籍しています。
3つの職種がチームとなり、それぞれの専門的な知識を生かしたリハビリプログラムを考えて、実施しています。



理学療法士 (PT)

怪我や病気などで身体の動きが悪くなり日常生活に支障をきたした方に対して、関節可動域の拡大や筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減を図りながら基本動作練習(寝返る、起きあがる、座る、立ちあがる)や歩行練習などを行い、自立した生活が送れるよう支援します。

また、入院中の患者さまが安全に過ごせるように、ケアマネージャーや福祉用具専門相談員と連携しながら、家屋環境の調整や助言(手すりの設置、段差解消、福祉用具の選定)などを行います。

作業療法士 (OT)

作業療法とは、障害と折り合いをつけながら、生き生きとした生活を送れるよう、仕事、遊びなど日常生活の中での活動(作業)をとおして、自分らしさを取り戻すための、こころとからだを元気にするリハビリテーションです。

病気やけが、もしくは生まれながらに障害がある人など、年齢に関係なく、日常生活に手助けを必要とするすべての人が作業療法の対象となる方です。人生のあらゆるステージで、「作業」を通じて、人と社会のつながりをつくります。

作業療法士は、「あなたらしく」生活が送れるように、その人の「今」と「これから」の豊かな生活づくりをお手伝いします。

言語聴覚士 (ST)

脳や神経の疾患により、発声・発語を行う器官が障害された方に対し、唇や舌の体操、呼吸・声を出す練習、文章の音読などを行います。

他には様々な原因で食べ物を噛んだり、飲み込んだりすることが難しくなった障害に対し、食べ物を使った練習、アイスマッサージ、口の体操などの練習を実施しています。

当院では嚥下造影検査(VF)を行っておりますので、食べ物や飲み物の飲み込みにくさを感じられた際には、是非ご相談ください。



「ここでリハビリを受けてよかった!」とっていただけよう、
患者さまの笑顔を大切にしながら、スタッフ一同、日々業務に取り組んでおります。



健康診断担当からのお知らせ

新オプション検査のご案内

大泉記念病院では、健康診断のオプションとして睡眠時無呼吸症候群の簡易検査を開始いたしました。



不眠



いびき



疲れが取れない

このようなお悩みのある方、睡眠時無呼吸症候群(SAS)かもしれません。

各種 健康診断のコースにオプションとして追加できます。

**睡眠時無呼吸症候群
の簡易検査 + ¥2,500**

睡眠中の無呼吸の回数・無呼吸に伴い体内の動脈血の中に、酸素がどの程度含まれているかの変化を調べます。

センサーをお貸し出し。ご自宅で検査いただけます。

健康診断の流れ

電話・FAX・
直接窓口にて
お申込み



健診・人間ドックは
完全予約制です。
※2週間前までにお申し
込みください。

日程のご案内・
資料の送付

健診の2~3週間前までに、
・ご案内
・問診表
・採取容器
等を送付いたします。
当日お持ちください。



健康診断
当日

通常の健康診断を行って
いただき、簡易検査のセ
ンサーのご説明。

ご自宅にてセンサーを取
り付け、普段通りご就寝
ください。



機械の返却
検査結果の告知

後日センサーを窓口にご
返却ください。

その後検査結果をもとに
診察いたします。



健診についてのご連絡は健診担当まで、お気軽にお問い合わせください。

TEL 0224-22-2111(代表) FAX 0224-22-2580

健診担当(八木沼・佐藤)まで

※土日・祝日は休診です。 ※受付時間 13:30~16:30

広報誌「和～WA～」では、地域の先生方や連携機関のみなさまにインタビューをさせていただき、地域医療に関わるお話やお知らせをお届けします。人柄や想いを通してより深いお付き合いをさせていただければと思います。

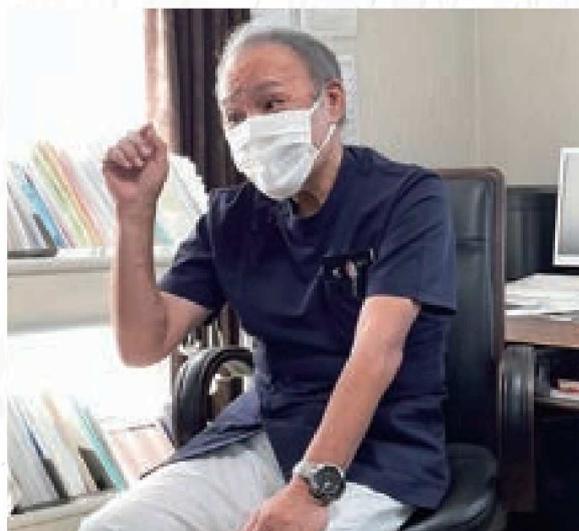
今回は仙南地域の地域医療の立役者であります、海上内科医院の海上寛先生にお話を伺いました。

白石市のソフトボール協会の会長を長く努めてこられた海上先生、幼少期からスポーツ万能だったようです。

先生：生まれは福島県の泉崎村です。第一次ベビーブームの昭和23年生まれで、昔ですから決まったスポーツをしてはいませんでした。小学生の頃から肩が強かったです。白河中央中学校は1学年13クラスのマンモス校でした。

高校も地元の白河高校へ進学し、テニスやサッカーなど色々なスポーツをしていました。東北大学の学生時代は硬式テニス部に所属していましたが、あまり真面目に練習していなかったと思います。しかし第二内科医局入局後は、本格的な野球をやった経験がないにも関わらず、肩が良いからとのことで第二内科野球部に入部させられました。当時は大学病院内の野球熱が高く、教室員会の各科対抗試合で優勝しようものなら、大学病院の中央廊下を大手を振って歩けたものです。在局中1度優勝したことがあります。刈田総合病院赴任中は、病院チームを結成し公立5病院(気仙沼、塩竈、古川-現大崎、仙台、刈田)対抗試合を中心に試合をしていました。私はピッチャーかサードのポジションでしたが、赴任したその年に優勝しています。また病院チームとは別に医局・薬局チームも結成し、大学病院や仙台市内の弱いチームと主にナイターで親善試合をしていました。チームマネージャーは亡くなった眼科の浅野俊弘先生でした。MRさん達と宮城球場(現:楽天モバイルパーク球場)でナイターを2試合したことが良い思い出です。

M： (インタビュー) 今も現役でソフトボールの大会に出場されて、バッティングのフォームもきれいですし、守備も上手ですが、練習はされているんですか。



海上内科医院 海上 寛先生

先生：普段から体を動かすことにしています。週3回早朝に1時間ほど朝練を継続しています。冬はオフシーズンなので、体を動かさないと途端に腰が痛くなったりするんですよ。ゴルフも、最近はゴルフレッスンを受け基本を習っています。ソフトボールがオフシーズンの冬にはゴルフをしようかな、と考えています。

M： 医師を目指されたのはいつ頃からですか？

先生：これといったものがあるわけではないんですが、祖父から聞いたところでは、医者を目指した親族が戦争のために医者になれなかった、という話が頭にあったのでしょうか、中学の頃には自然と医者の道を考えていました。

仙南地区での在宅医療をいち早く取り入れてこられました。

先生：刈田総合病院に勤めていた間も在宅医療、訪問診療を行っていました。海上内科医院に独立後、ピーク時には50名の訪問診療を行っていました。また、刈田病院時代は人工透析と内科一般を行っていました。当時の関谷市長が夜間透析に造詣が深く、「昼間働けるように、夜に透析を」という患者さま本意の体制も取れていました。

M： 先生の訪問診療と言えばシボレーに乗られているイメージがあります。

先生：どんな車でもいいんですが…。昔は「ジムニー」に乗っていました。息子が院長の現在も、2週間に1度訪問診療を行っています。



**当院との連携の話題では、
「和彦ちゃん」と呼ぶ間柄の
佐藤和彦先生との思い出話もいただきました。**

先生：どんな症例も、手っ取り早く請け負ってくれて、ありがたい存在でした。タフな先生でしたね。和彦先生の能力はすごいものがありました。まず、あの幅広い知識。あれは常に勉強してこそのもですね。今も松本純理事長に色々な症例を受けていただいています。特別養護老人ホーム 八宮荘の嘱託医の後任を請けていただいた網倉克己先生とは、実際お会いしてのやり取りで、「地域の為に」との大変良いお返事をいただきました。いつも良いドクターとの巡りあわせがあります。

**海上先生と言えば
一市二町の地域医療でのご活躍もあります。
市役所、病院、施設との連携を深め作成された
「一市二町 診療情報提供書」の書式は、
地域連携の要となっています。**

先生：市で統一した書式を使っている例はあまり聞きませんね。病院間でも病院と施設間でもギャップなく使えるのがこだわったところです。時代に合わせ、アップデートを重ねていただきたいですね。今はFAXの書式ですが、ICTに合わせ取り込んでいくなどこれからの世代に考えていただきたいです。

**幼少の頃を
「みんなと仲が良かった」と話す海上先生、
連携に力をいれる姿勢は
幼少の頃から培われたものでしょうか。
次は、海上内科医院さんが
力をいれていることについて伺いました。**

先生：地域に根差した医院でありたいです。どういう症状でも診る、というのはもちろんですが、その先の退院後の生活、介護・福祉に関することまでまとめて考えています。また、ずっと力をいれてきた訪問診療。現在息子の代ですが、継続しています。院長が訪問診療の際は、私が診察を担当しています。今までもそうですが、周りの病院との連携をこれからも大切にしていきたいと思っています。

**仕事もプライベートもパワフルな海上先生、
どのようにストレス解消されて
いるのでしょうか。**

先生：日々の運動もそうですが、今は4人の孫が一番の楽しみでもあります。一番上の子が誰に似たのか、とても運動が得意でね(笑)。



新しく買った車は、「孫のために」と妻を説得したんですよ。年に何回か集まります。今年の夏も集まる予定ですよ。

M：車の出番ですね。

**最後に、地域の皆さまに
一言いただきました。**

先生：健康診断を是非受けてください。健康管理も医者の仕事です。どんな健診でもいいですから、定期的に受けることが大切です。当院は「最後まで診る」という姿勢でおります。来院が難しければ訪問診療もごさいます。

ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

【取材協力】

海上内科医院

〒989-0274 宮城県白石市字長町56-1

☎0224-25-1501

【診療時間】 9:00~12:30 / 14:00~18:00

【休 診】 水曜・日曜・祝日・土曜午後

【診療科目】 内科、消化器内科

【ご経歴】

医師 海上 寛

昭和23年10月30日生

(社)日本腎臓学会 腎臓専門医

(社)日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医

昭和49年 3月 東北大学医学部卒業

昭和49年 6月 医師免許取得(医籍223505号)

昭和49年 6月 秋田県厚生連由利組合総合病院勤務

昭和51年 5月 東北大学第2内科勤務

昭和57年 1月 公立刈田綜合病院勤務

昭和62年11月 海上内科医院開業

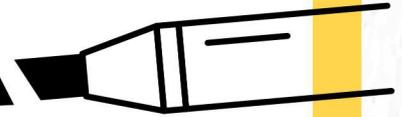
【聞き手】 大泉記念病院 地域医療連携課
室橋 裕之 / 平間 千都 / 伊藤 理恵





院内研修

医療接客研修



毎日多くの方が訪れる病院では、「接客」が果たす役割は、非常に大きく重要です。当院では、昨年7月からの3か月、また今年6月からの3か月にわたり、外部講師を招き「院内接客研修」を行いました。

院内へ広め浸透させることにより、より良い医療提供を行えるよう努めてまいります。

- 概要
 - 当院の現状をお聞きいただいたうえで、当院の状況にふさわしい内容を提案いただき、実践的な内容を指導していただきました。
 - 人材育成の目的も兼ねて、受講後は各部門の接客指導者となれるメンバーを選出し、3回連続の研修にて接客力を高める。
- 講師 大原 みよこ 様 (株式会社スマイルアップ 代表取締役)
- 受講者 受講者21名、オブザーバー1名

研修の様子



美しいお辞儀

講習の開始時や、休憩のたび「美しいお辞儀」であいさつを行います。相手に対する礼儀、周囲の方への礼儀を意識します。

コミュニケーションタイプ

コミュニケーションの特性を「赤:コントローラー」「黄:プロモーター」「青:アナライザー」「緑:サポーター」に分け、特性を知ること、声の掛け方やアプローチの参考になります。



指導の仕方

講師の大原さんが「悪い態度」の見本となり、どこが悪いのか、なぜ悪いのか、どうしたら良いか、受講者が説明をし、指導の仕方を学びました。なぜ悪いのか、相手から見える印象について重要性を感じました。



講師のご紹介

株式会社スマイルアップ
代表取締役
大原 みよこ さん



元日本航空株式会社、国際線客室乗務員。
2016年株式会社スマイルアップを設立。
企業研修講師、接客コンサルティングを主とし、職種や属性に合わせ、心でわかる体感型学習を中心に、「わかりやすくすぐに実践できる」研修を構築。「愛ある行動」をモットーに、企業側、働く側の意識に働きかけ、双方に良い循環が生まれる人材育成サービスをご提供しております。



病院ホームページを

リニューアルしました！

新URL

<https://www.ooizumi.or.jp>

スマホでも
チェック
ください→



▲トップページ

各部署の
ページも
増えています

Check!

内部ページ例 採用案内▶



内部ページ例 診療のご案内▶



昨年、当院のホームページをリニューアルしました。院内で協議を重ね、これまでより見やすく、わかりやすく、少しでも多くの方に見ていただきたいという想いで作られています。今後も病院内外のご意見を参考にしながらアップデートを重ね、皆さまが必要な情報を発信してまいります。ぜひご活用ください。



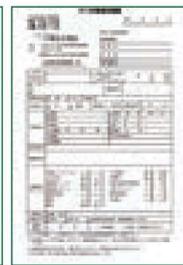
◀ 内部ページ例
部門紹介
地域医療連携課

Check!

必要書類を
ダウンロード可能です。
ぜひご活用ください。



転入院相談票



CT・MRI検査依頼書



PEG交換依頼書



健康
シリーズ
health

体幹トレーニングで姿勢改善

今回は体幹トレーニングによる姿勢改善です。



プランクと呼ばれる筋トレです。
つま先と両肘で身体を支えます。この時、頭から足底まで一直線になるイメージで行いましょう。



次はサイドプランクです。
こちらもプランク同様、体が一直線になるイメージで行いましょう。

体幹トレーニングを行うと普通の姿勢が改善されます。
姿勢が改善することで肩こりや頭痛など様々な悩みの解消につながります。
まずは30秒ずつからでも始めてみて、徐々に時間を延ばしていきましょう。

リハビリテーション科 理学療法士 松尾 那知



》診療科目

内科、外科、呼吸器科、循環器科、
消化器科、整形外科、脳神経外科、
婦人科、神経内科、心臓血管外科

》病床数

一般病床 48床
療養病床 112床
地域包括ケア病床 32床

基本
理念

信頼され、愛される病院

私たちは、医師・看護師をはじめとした様々な職種が連携し、入院から退院後まで安定した医療を提供できるよう努めます。良質な医療の提供を心がけ、近隣の医療機関や施設からも信頼される病院を目指します。みんなが長く健康でいられるよう、予防医療を推進します。

》基本方針

救急医療 地域に密着した医療を提供し、病気の回復・機能維持を重視した質の高い医療を提供します。
予防医療 健康高齢者を目指し、生活習慣病を予防するため、より高度な健診体制を構築しています。
高齢者医療 高齢者一人ひとりを尊敬し、退院後も、その人らしい生活が送れるよう、在宅医療も視野に入れた支援を提供します。

》受付時間

月～金 8:30～11:30 / 13:30～16:30
土 8:30～11:30

診療時間は9:00～ / 14:00～です。
土曜日午後、日曜祝祭日、年末年始及び夜間は日当直体制となります。

編集後記

諸説ありますが、冬から春へ季節の変わり目に降る雨の名を「寒の雨」、夏から秋へ季節の変わり目に降る雨の名を「秋雨」と言うそうです。そして雨を表現する日本語は400種類以上あるそうで、これらの表現は四季があるこの国で縄文時代に蓮根が渡来し、弥生時代には稲作が伝わり、本格的な農耕民族として生活してきた日本独特の感性だと思えます。

さて、今年の秋がようやく訪れました。思い返せば9月に入り、雨が降るたび朝晩が少しずつ過ごしやすくなってきた気がします。

そろそろスポーツの秋です。今回の「和～wa～」は、白石刈田地区の地域医療の先駆者でもあり、ソフトボールの現役プレイヤーでもあります、海上寛先生との対談を載せております。お楽しみいただけたらと存じます。

秋とは言え、まだまだ暑い日が予想されますし、COVID-19やインフルエンザが流行しつつあるようです。体調管理には十分にご留意いただき、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」など様々な「秋」を堪能しましょう。

地域医療連携課 課長 室橋 裕之

地域に寄り添う、健康サポーター



医療法人浄仁会
大泉記念病院

〒989-0731 宮城県白石市福岡深谷字一本松 5-1
TEL 0224-22-2111 (代表) FAX 0224-22-2580
<https://www.ooizumi.or.jp>